



口之津開港450年メインイベント

ぶりにさらなる応援をしてくださいました結果です。また、週刊東洋経済が発表した「日本のいい街2012」(2012年10月13日号)の、高齢者が住みよい街部門で本市が全国第7位にランクインし、出産・子育てしやすい街部門では、全国第13位にランクインしております。

これは、健康、福祉、子育ての施策が徐々に成果を現してきていることの証であると考えております。今後は子どもたちの医療費対策、福祉タクシーの活用など、人が元気になる取り組みをさらに推進します。

産業が元気になる取り組みは、全国区の手延べそうめんや農水産物の活性化について、原産地である南島原市の知名度が、そのままブランド化の基礎をなすものであり、「口之津開港450年」で一連のイベントが大きな効果を示しています。



長崎から世界遺産を「長崎の教会群とキリスト教関連遺産(南島原市関連遺産：日野江城跡・原城跡)」 ※写真は日野江城跡

人に対し、今年は6,358人と2倍以上に達するなど、その効果が現われてきています。

まちが元気になる取り組みは、口之津港の全面改修計画を進めております。歴史的にも有馬藩と呼ばれた時代には海上交通により、南蛮貿易を通じ、大いに経済と文化が発達したことが、港湾の重要性を物語っています。口之津港は天草とだけの玄関口ではなく、あらゆる港と結ばれた観光港としての魅力に加え、物流の拠点としての可能性も秘めています。半島の特性を生かす新たなチャレンジであると考えております。

さらに本年は、原城跡、日野江城跡を長崎の教会群とキリスト教関連遺産として世界遺産登録を目指す重要な年です。

世界遺産への登録を果たし、南島原市を再び世界に向けてPRしていきたいと考えております。

年頭にあたり取り組みの一端を申し上げますが、これらの取り組みをより確かなものにするためにも皆さまのいっそうのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、希望に満ちた新年をお健やかに迎えのことと心からお慶びを申し上げます。また、旧年中は市政に対しご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

昨年は、「口之津開港450年」の記念すべき年でした。日本のどのまちに、これほどの奥深い歴史を平然と語る所があるでしょうか。

この歴史を踏まえて、南島原市の知名度アップのため広くPR活動に努めました。それは、市民の皆さまが故郷に誇りを持ち、全国に「南島原市」の魅力を知ってもらおうことが第一と考えたからです。

その効果の現われとして、「ふるさと応援寄附」が昨年度は1,931万円と長崎県13市8町のトップに立ったことです。本市出身の故郷を愛する人たちが、ふるさとへの健在、



特集 ひまわり人(6~7)

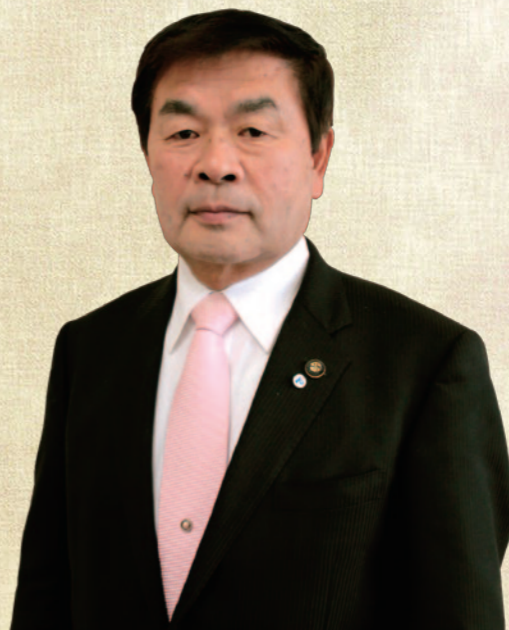


南島原にゆーす(8~9)



まちの話題(10~12)

「人」が元気に。  
「産業」が元気に。  
「まち」が元気になる南島原！



南島原市長 藤原 未幸

イベントによるマスメディアへの露出は半年間で広告料に換算した場合、およそ1億6,500万円の規模になり、フェイスブックなどのソーシャルメディアで本市に登録した人の数が半年で6万人を超えるなど、海外を含め多くの人たちに南島原市をアピールできました。この結果、民泊の予約は昨年の2,826



南島原民泊体験

CONTENTS

平成25年 新年のごあいさつ	2~5
特集 ひまわり人	6~7
南島原にゆーす	8~9
まちの話題	10~12
北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展	13
くらしの情報	14~16
島原半島世界ジオパーク	17
復興への絆	18
朝ごはんコンテスト	19
南島原市図書館だより	20
消費生活センター	21
保健事業のご案内	22~23
市民カレンダー	24